

（様式6-A） A. 雑誌発表論文による学位申請の場合

橋本 悠 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目 Validation of red dichromatic imaging score (RDI score) to evaluate the severity of ulcerative colitis

(潰瘍性大腸炎の活動性を評価するred dichromatic imaging score (RDI score)の検証)

雑誌名 Surgical endoscopy (in press) 2023年

著者 Yu Hashimoto, Shiko Kuribayashi, Keigo Sato, Yuki Itoi, Ko Nakata, Kengo Kasuga, Hirohito Tanaka, Hiroko Hosaka, Hayato Ikota, Marietta Iacucci, Toshio Uraoka

論文の要旨及び判定理由

本研究は潰瘍性大腸炎の炎症活動性を評価する新規内視鏡イメージングであるRDIを用いた評価スコアが前向きに検証された初めての研究である。潰瘍性大腸炎において組織学的な治癒が最終的な治療目標となり得るが、生検に伴う出血などの合併症リスクや検査時間が長くなること、生検を行った非常に狭い範囲のみでの評価となるなどの問題が存在する。本研究によりRDIスコアは通常光の内視鏡スコアよりも組織学スコアとより強く相関することが判明したため、生検を行わなくとも組織学的活動性に近い評価を行える可能性を示唆している。

将来的には人工知能を用いたスコアリングシステムの確立や長期的な臨床予後の評価に有用か、潰瘍性大腸炎関連腫瘍においてRDIは有用であるかなど、研究の発展性も期待される。

非常に有用な研究であると認められ、博士（医学）の学位に値するものと判定した。

（審査年月日）2023年6月2日

審査委員

主査 群馬大学教授（医学系研究科）  
消化管外科学分野担任 佐伯 浩司 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）  
循環器内科学分野担任 石井 秀樹 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）  
腫瘍放射線学分野担任 大野 達也 印

参考論文

なし